



謹賀新年



全国にひとりでも多くの菊づくり仲間ができますように



瀬戸流溪

明けましておめでとうございます

旧年中は格別なるお引立てを賜り心から厚く御礼申し上げます。
昨年も「菊づくりを始めて三年目なのに仲間がビックリするほど大きな花が咲き最高賞をいただいた」など、うれしいお便りをいっぱいいただき新年を迎えることができました。心から感謝申し上げます。

菊は奈良時代の中期に遣唐使により薬用植物として入ってきた中国原産の花です。

平安時代には貴族や武士により作られ、九月九日の重陽の節句には菊を見て、菊酒を飲み、不老長寿を願う「着せ綿の行事」を行う習わしがありました。菊づくりが大きく花開いたのは江戸の中期で、一般庶民の間でも盛んに作られ、交配により優れた新品種が次々と作出され「菊合わせ」なども行われ、現在の菊づくりの型が確立されたと言われています。明治の中期になると各地に菊花会ができ盆養三本立などが流行し、美が競われ発展してきました。しかし、近年、菊栽培人口が減り存続を危ぶまれる菊花会もあるようです。

新しい年を迎えるにあたり、菊づくりの伝統を重く受けとめ菊づくりの発展に土と肥料を通じ少しでもお役立ちできますよう、微力ながら努力させていただきます。

本年は菊づくり仲間が、全国に一人でも多くできますよう、菊づくりの普及に全力を尽くしたいと考えています。

当社としては愛好家の皆様のお手伝いの一端として、使いやすい資材の開発や菊づくりマニュアルの作成などに全力を上げてまいります。

本年もなお一層のお引立てと、お力添えをいただけますよう心からお願い申し上げます。

平成二十七年 元旦

ウチダケミカルコーポレーション

代表取締役 内田義一

社員一同